

# 令和5(2023)年度栃木県普及指導活動外部評価結果

## 1. 評価

事務所名	下都賀農業振興事務所			
評価対象事例名	未来へつなぐ環境保全型農業の推進			
項目	視 点	評 価		
		A	B	C
取組の背景・ねらい	①現状や問題についての分析は十分か	3	3	0
	②問題点に対し、適切な課題が設定できているか	1	5	0
	③施策に合わせた目標を設定しているか	2	3	1
活動対象・活動の内容	④活動対象の選定は適切か	3	3	0
	⑤課題や活動対象に対し、活動方法は適切か	1	5	0
	⑥市町・JA等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか	5	1	0
	⑦活動は計画的かつ効率的に実施されているか	2	4	0
	⑧農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか	3	3	0
活動の成果・今後の対応策	⑨実績に対する要因分析がされているか	0	5	1
	⑩残された課題について検討されているか	1	4	1

(1) 評価項目は、各項目の視点に基づき評価する。

(2) 評価基準は、消費者視点も踏まえた上で、以下の3段階とする。

A: 良好である B: 普通である C: 不良である

(3) 評価における数値は、評価対象事例の各項目に対して、A～Cを評価した外部評価委員数を表している。

## 2. 評価委員の意見

○環境保全型農業の推進に当たり、有機農業技術の体系化、GAPの精度向上を始め集中的な施策をお願いしたい。

○GAPは、今後農業において必要な取組となるため、引き続き推進をお願いしたい。

○持続可能な農業の実現のため、環境負荷低減に向けた農薬の適正使用や減農薬は必要であり、本取組は必要性を感じる。

○活動による対象先(研修受講者、GAP認証取得者等)の意見・感想を今後の活動に活かしてほしい。

○GAPの取組拡大に向け、農場点検・改善を実施するJA生産部会数の目標値の上方修正や、改善指導後のさらなるフォローアップを検討願いたい。また、オーガニックビレッジ宣言した小山市以外の市町との連携も今後期待する。

○GAP、有機農業の目標設定及び活動内容をより具体化して、本取組のさらなる推進を期待したい。